

# モーツァルト・サロン会報 NO.85

第85回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ  
「デビュー20周年記念 佐藤卓史ピアノリサイタル」特集  
2023年12月3日号



シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番  
目標の曲でした！

## ご挨拶

三年半あまりに及んだコロナ禍による行動制限が5月に解除され、コンサートホールや飲食店などが活気を取り戻した2023年も残り少なくなってきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

12月にしては暖かな3日(日)14:00より、当サロンでは「デビュー20周年記念 佐藤卓史ピアノリサイタル」が開催されました。

幕開けは「J.S.バッハ＝小林秀雄：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565」。凄まじい集中力で導入部を弾き始めると、まるで大ホールのパイプオルガンの音と錯覚を起こすような豊かな響きが会場を満たしました。そして、演奏後にご挨拶と曲の説明をされました。

「皆様、今日はお寄り下さってありがとうございます。私が2003年に初めてのリサイタルを催してから20年ということで、色んな活動をしているその一部を聴いて頂こうかと思えます。実は今、全音ピアノピースの裏表紙に載っている一覧を1番から順番に弾いたものを毎日ユーチューブに投稿するという鬼のような修行をしています。この後演奏する曲はビゼーとゴダールという、二人ともフランスの作曲家ですが、素敵な小品を発見しました。私もこういう機会(ピアノピースの全曲演奏)がなければ弾けなかった曲です。ビゼーはピアノもかなり上手だったようですが、ピアニストとして活躍する前に若くして(36歳)亡くなってしまいました。ゴダールはオペラの作曲家ですが、マズルカ第2番(どこがマズルカなのかわからない)というサロン用の小品ですが、そちらをお聴き頂きたいと思えます」。そして、『ジョルジュ・ビゼー：6つの無言歌「ラインの歌」より第1曲「夜明け」』と『バンジャマン・ゴダール：マズルカ 第2番 作品54』が優しく粋に演奏されました。

「私が20年前にデビューした時は、一晩一人でステージに立って全部の曲を弾くのが大変でした。それまではコンクールなどの最長45分のステージしかやったことがなかったのです。準備するのは頭の中が爆発しそうな位大変でしたが慣れてきました。19歳でデビューしてその頃はどんな曲でも2、3回弾けば覚えられていましたが今は…(笑)前半の最後は現代の日本の作曲家「平野一郎、さんの作品です。

「二つの海景一♀：祈りの浜 ♂：怒れる海民の夜、ですが、(氏の)出身地の丹後半島の民俗行事をもとに書かれたもので、今年の8月に平野さんの東京での個展の時に私が演奏して、素晴らしい曲で、感銘を受けましたので、是非もう一度弾きたいと、こちらのプログラムに入れました。今年出会った曲ですので、是非お聴き頂きたいと思えます」。当日会場にいらしていた平野先生のSNSには次のように書かれていました。「美しくも激しい演奏で、二曲目が終わった後の会場のどよめきが嬉しい😊 沢山の方からお声かけ頂く」。

後半は「フランツ・シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960」。演奏前にお話がありました。

「シューベルトの全曲演奏会を2014年から始めて10年位になります。子供の頃からシューベルトは好きだったのですが、ソナタは数える位しか演奏したことがありませんでした。留学してからシューベルトに沢山触れる機会があって、それでコンクールに出てみたら賞を取って、それからシューベルトの曲を沢山やるようになったのですが、そうしたらこの最後のソナタを弾くのが目標でありまして、それこそ留学中に弾いてみようかなと楽譜を見ては、そのまま閉じたりということを繰り返しまして、今回初めて演奏することになりました。まだ弾けるような状態になっているかどうか分かりませんが、今できるなりで演奏すればいいかなと考えが変わってきました。このソナタは、最晩年の9月に完成して、11月に亡くなっています。それまでのソナタはオーケストラっぽかったり、ロマンティックであったりと実験していて、ベートーヴェンのソナタに対して、自分はどういうものを書けばいいんだろうと試行錯誤をしながら新しいソナタの形を作っていたんだと思えますが、この最晩年のソナタは、それよりも前のスタイル、モーツァルト等に似たところが多い。それまでの伝統に寄り添って自分が伝統になろうと意識していたんじゃないかと思えますが、晩年ならではの澄んだ、深い精神性を感じるような作品です。大変な熱演に盛大な拍手が贈られました。再び登場してアンコールの前にお話。「私は、昔は先々のことを心配するたちでしたが、先輩に聞くと30代で男性ピアニストは仕事が無くなると言われてきました。その間にCDを作っておけばいいんじゃないかと思いました。幸いなくならなかったのですが、誤算もありまして、そのうちに皆さんCDを聴かなくなったんですね。そんな時代の中で11月にCDが出まして田中正也さんとの共演で「月の光 フランス近代2台ピアノ音楽傑作選、です。シューベルトと言えば歌曲で有名です。本当は歌詞と一緒に聴くのがいいのですが、私達楽器の演奏者もきれいなメロディーを弾きたいのです。今日はシュテファン・ヘラーという人が編曲した「セレナーデ」を弾きます。ヘラーの編曲は原曲に近く、効果的です」。そして、切なくも美しい歌曲へと誘われました。

本日は一台のピアノからオルガン、ギター、ハーブ、和太鼓等の音色やその背景にある様々な世界が生まれ、ピアノ曲のみならず、幅広いジャンルの音楽に造詣の深い佐藤さんらしさが最大限に引き出された、正に20周年記念に相応しいものになりました。

一般社団法人 国際育英文化協会  
代表理事 伊藤美保子

# アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

## 1. プログラムの中で良かった曲をお教えてください（何曲でも可）

- J.S.バッハ=小林秀雄：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 5
- ビゼー：ラインの歌（6つの無言歌）～暁 4
- ゴダール：マズルカ 第2番 Op.54 5
- 平野一郎：二つの海景 ♀ 祈りの浜（2004） 6  
♂ 怒れる海民の夜（2007/2011） 6
- シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960 6
- アンコール曲（シューベルト=ヘラー：セレナーデ） 3

## 2. 佐藤史さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ 20年の御活躍おめでとうございます。（色々御苦勞もあつたと思いますが）益々のご発展を期待しております。
- ♪ デビュー20周年おめでとうございます。色々な曲が聴けて幸いでした。今後も楽しみにしています。
- ♪ 20周年おめでとうございます。いつもパワフルな演奏とても楽しみにしています。トークも相変わらず楽しくてとても良かったです。今後もますますのご活やく期待しています。
- ♪ 曲の間のお話もお上手で楽しみです。編曲者が同じ曲で何人もおいでとの話…びっくりです。私には多分違いは判らないと思いますが…。運指？指の動きのよく判る場所にじんどって、とくに楽しめました。ありがとうございます。6月19日…予定しておきます。（アンコールの曲）耳なじみの良い曲をありがとう。
- ♪ すばらしい演奏をお聴かせ下さり、ありがとうございました。楽しそうにお弾きになっているのを観ながら、良いひとときを過ごさせていただきました。（PS.足許に置いてあつた「サスペンション・ペダル」のようなデバイス(?)が何なのか、ちょっと気になりました！)  
※あのペダルは電子楽譜の譜めくりをする時に踏んでいます。
- ♪ やはり平野作品は音楽家を覚醒させるのかと思いました。ゴダールとヘラー編曲（アンコール曲）を聴けたのが収穫でした。そのうちヘラーの「ベートーヴェンの主題による33の変奏」も弾いて下さい。D960はあと20年は弾かないと…。
- ♪ 今日は素晴らしいピアノリサイタルを聴けたこと。（佐藤様のリサイタルは）初めてでしたが本当に幸せな時間をすごすことができました。選曲にも感服しました。又、違う選曲で聴いてみたいと思いました。今後の精進にも期待します。次回もリサイタル鑑賞します。本当にありがとうございました。
- ♪ これからもがんばってください！ゴダールはちょっとペダルが多すぎたような…。きっとピアノのせいですね。（平野先生の曲は）目の前に情景が広がり、素晴らしい曲でした。D664が聴きたかったです！またの機会を期待しています。YouTubeも毎晩楽しみに拝聴しています。



バッハ=小林秀雄：トッカータとフーガ  
あまりにも有名な導入部



始めのご挨拶  
本日はお寄り下さりありがとうございます。



ビゼー：「ラインの歌」より「夜明け」、  
美しいハーブのような音が。



ゴダール：マズルカ第2番  
小粋な小品



平野一郎：二つの海景より「怒れる海民の夜」  
大詰めのグリッサンド



当日駆けつけてくださった  
平野先生と固い握手

♪曲は全て良かったです！ ショパンとかじゃないところ（ショパンはもちろん好きですけど）が良かったです。

佐藤さんのことを知ったのは、夏ごろだったかと思います。YouTube のおすすめに全音ピアノピース毎日チャレンジが上がってきたのがきっかけでした。それ以来、ほぼ毎日拝見しております。知っている曲、弾いたことのある曲は、ああ、こういうふう

に弾けば良かったんだと納得したり、こういう表現があるんだと感動したり、また、楽しいお話を聞きながら勉強させていただいております。佐藤さんのいいなと思うところは、演奏ももちろんですが、「攻めの姿勢」みたいなところ

## 佐藤卓史さんデビュー20周年おめでとうございます！

佐藤さんからデビューについてのお話を伺いました。

2001年の日本音楽コンクールの前後から演奏活動は徐々に行っていたのですが、2003年に初めてのソロリサイタルを4都市（3月8日秋田、4月21日東京、7月12日所沢、7月21日横須賀）で開催したのを公式なデビューということにしています。

多くの方々に支えていただいでこうして20周年を迎えることができ、感謝の念に堪えません。

プロのピアニストとして20年間活躍を続けるには、実力、ひたむきな努力、音楽に対する情熱、お客様に支持されること、ご家族の応援…。その他数えきれない要因があるように思います。

この間、東日本大地震でのコンサートの自粛、記憶に新しいコロナ禍での行動制限がありましたが、見事に乗り越えられました。

佐藤さんが当サロンに初出演されたのは2012年8月にハノーファー留学時代のお仲間であるヴァイオリンの永井公美子さんとのデュオでしたが、それ以来、毎年ソロリサイタル、ピアノ三重奏、そしてCD制作では企画から制作までお願いしてきました。

この喜ばしくも記念すべきリサイタルが当サロンで開催されるにあたり、できる限りのお祝いをして差し上げたいと思いました。まず浮かんだのは赤いバラの花を20本贈ること、お客様と共にお祝いをすることでした。考えた末にケーキにローソクを立てて吹き消して頂くことにしました。ピアニスト・佐藤卓史さんの20歳の誕生日です。袖で佐藤さんに見られずに準備をしたいのでアンコールを弾き終わったばかりの佐藤さんに「カーテンコールに行ってください」と命令してしまいました（ごめんなさい）。サプライズ成功です！皆様から盛大で温かな拍手が送られました。ありがとうございます。

今度は25周年でしょうか！また、お祝いができるように、お身体を大切にされて、益々のご活躍をお祈りしております。

ファン代表 伊藤美保子



シューベルト：ピアノソナタ第21番  
この後で激しいエンディング



花束を嬉しそうに受け取る佐藤さん



アンコールはシューベルト：セレナーデ  
切なくも美しい。



サプライズのケーキ  
佐藤卓史さんデビュー20周年  
おめでとうございます。



「二十歳の誕生日みたい(笑)」と言った後、  
20のローソクを消す。



20本の赤いバラを贈りました。

第 86 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

魚谷絵奈ピアノリサイタル チケット発売中!

~本格派ピアニストが美しい音色で紡ぐ名曲の数々~

2024年2月18日(日) 14:00より 入場料:3,000円

J.S.バッハ:15のシンフォニア BWV787-801

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第23番 作品57 "熱情、

三善晃:「海の日記帳」より

スクリャービン:24の前奏曲より

ピアノ・ソナタ第2番 作品19 "幻想ソナタ、

※下記公演は全て14:00開演,入場料は3,000円です。

第87回 2024年4月14日(日) 永井公美子&矢島愛子デュオリサイタル

第88回 2024年6月23日(日) 北村明日人ピアノリサイタル

第89回 2024年10月13日(日) 根津理恵子ピアノリサイタル

第90回 2024年12月 日にち未定 佐藤卓史ピアノリサイタル

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み:記号10150 番号70038231

②他の金融機関からのお振込み:店番018 普通預金7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金2093151

※クレジットカード決済をご希望の方はPass Marketよりご購入いただけます。  
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

♪『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』 1,500円(税抜き)



当社団が2016年に柿沼唯先生に委嘱した  
クリスマスの三重奏曲を是非CDにというお声に応え、  
若手の錚々たる演奏家を得て

華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムにいたしました♪

モーツァルト:ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564  
チャイコフスキー=柿沼唯:「くるみ割り人形」より花のワルツ  
(2016年委嘱作品)

柿沼唯:クリスマス・メドレー  
(2016年委嘱作品)

演奏:上敷領藍子(VI) 三井静(Vc) 佐藤卓史(Pf)



魚谷絵奈先生

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・火曜日

Steinway B, YAMAHA C5でレッスンをするワンランク上の個人レッスン。

コンチェルトや2台ピアノの曲も可能です。

音大卒の方の学び直し、ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

・月額制:10,000円~(30分~/年40回)

・1レッスン制:60分(6,000円)、90分(9,000円)



青木沙耶花先生

お問い合わせ:一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-005 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル5F

TEL:03-5939-9535(営業時間:平日9:00~17:00)

HP:<http://www.kokusai-ikuei.jp/>(右のQRコードを読み取ってください)

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。

